

磯田道史が肥後熊本で語る

細川文化歴史講演会

「私の見る細川文化の輝き」



講師：磯田 道史

国際日本文化研究センター 教授

1970(昭和45)年岡山市生まれ。53歳。歴史家。慶應義塾大学大学院を卒業後、茨城大学助教授、静岡文化芸術大学教授などを経て、現在は京都にある国際日本文化研究センターの教授。専門は日本史。著書に映画化された「武士の家計簿」(新潮ドキュメント賞)などがあり、近年は災害を防ぐための歴史や忍者の古文書調査も。小学校の社会教科書(日本文教出版)の執筆やNHK・BSの人気歴史番組「英雄たちの選択(NHK)」の司会・コメンテーターとしても知られる。公益財団法人永青文庫評議員。



能楽殿

細川家は代々能楽を愛好しており、神社創建と同時に建立(1878年、明治11年)。1965年(昭和40年)火災で焼失。その後旧八代城主松井家より、1986年(昭和61年)に移築。

令和6年

日時

12月1日(日)

講演：約1時間
質疑応答：30分

15時～16時30分

会場

水前寺成趣園 能楽殿

熊本市中央区水前寺公園8-1

※荒天の場合…ホテル熊本テルサ
(熊本市中央区水前寺公園28-51)

※園内には駐車場がありません。

※会場変更の場合は、前日(11月30日)午後4時
成趣園ホームページにてお知らせします。

参加
無料

定員
400名

事前申込
11/15まで必着
申込方法は裏面

細川家の400年 その①



古今伝授の間



初代 細川藤孝(幽齋)

清少納言の家系であり、当代一の文化人であり、武芸にも秀でた。和歌界の聖書「古今和歌集」の秘伝「古今伝授」を継承した。関ヶ原の戦い直前、田辺城に籠城、石田軍の猛攻を防ぎ、後陽成天皇の勅使により、籠城がとかれ、古今伝授が途絶えなかった。



忠興とガラシャ像(勝竜寺城公園)



三代 細川忠興(三斎)

茶の湯に精通する茶人武將、「千利休」の高弟で、利休七哲の一人に数えられる。明智光秀の娘・玉(ガラシャ)と結婚し、細川家の基礎を築いた。小倉城築城39万9千石、小倉藩主、後に八代城主となる。



事務局
[お問い合わせ]

出水神社

TEL.096-383-0074 FAX.096-383-4233

(〒862-0956 熊本市中央区水前寺公園8-1)

細川文化歴史講演会 参加申込書

参加費無料 [※11月15日までに申込(必着)] / 定員400名

次の
いずれかの方法で
お申込み下さい

- 1 右のQRコードを読み込んで、表示されるお申込みフォームから
- 2 FAX.096-383-4233
- 3 郵送先：〒862-0956 熊本市中央区水前寺公園8-1 出水神社宛



▼下記枠内全てご記入ください。

※チケット申し込み枚数は1人4枚までとさせていただきます。

申込者 (お名前)			チケット枚数 (申込者含む)	枚
チケット 送付先	〒	—		
	住所			
電話番号	—	—	水前寺成趣園友の会 (有・無)	

(個人情報の利用目的)

ご記入いただいた個人情報は、上記後援会の参加申し込み及び情報提供のみ利用いたします。また、正当な理由なく他人に知られることのないよう適正な管理に努めます。

お申込み
注意事項

- ①お申し込み後、出水神社よりチケットをお送り致します。
- ②講演会当日、チケットを必ず1人1枚ずつお持ちいただき、成趣園入口(正面・北門)にてご提示下さい。
※チケットは会場・能楽殿でも必要となります。
(ご注意：チケットをご提示いただけない場合、入場が出来ませんので、ご了承下さい。)

細川家の400年 その②



宮本武蔵像 (武蔵塚公園)

初代肥後藩主で、剣豪武蔵を肥後藩に招聘。武蔵は肥後で『五輪書』の著作を始め、芸術の分野でも顕著な才能を発揮した。成趣園の始まりである国府(水前寺)御茶屋創設。花畑邸(陽春庭)整備。改易された加藤家の家臣をかかえた。



三代 細川忠利



水前寺庭中之図 (西より)

熊本の水を愛し、水前寺成趣園の大規模作庭をし、完成(1671年)。他、八景水谷の整備、白川水源白川吉見神社等を整備した。赤穂浪士17人への心のごもった対応。相撲行司の吉田司家の招聘(150石)し、後の「横綱免許」へと繋がる。



現在の
水前寺成趣園



五代 細川綱利

肥後六花 (園内の肥後六花)



肥後椿



肥後芍薬



肥後花菖蒲



肥後朝顔



肥後菊



肥後山茶花

日本の三大藩政改革の一つである宝暦の改革を行う。

- 産業振興(「榎方役所」・干拓他多数)
- 年貢増収
- 人材育成(藩校 時習館、医学校 再春館、薬草研究 蕃滋園)
- 御刑法草書(明治の刑法の手本)
- 財政再建

後に肥後の鳳凰といわれた名君。また、藩士の精神修養として肥後六花の栽培を奨励した。



八代 細川重賢

写真提供：公益財団法人永青文庫、長岡京市商工観光課

[主催] 細川文化歴史講演会実行委員会

[協賛] 出水神社、公益財団法人永青文庫、熊本国際観光コンベンション協会

[協力] 熊本県文化協会、水前寺活性化プロジェクトチーム

[後援] 熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本日日新聞社、NHK熊本放送局、熊本放送、テレビ熊本、熊本県民テレビ、熊本朝日放送、エフエム熊本、熊本シティエフエム